スマートフォン向けアプリ
SFAssist[iOS]

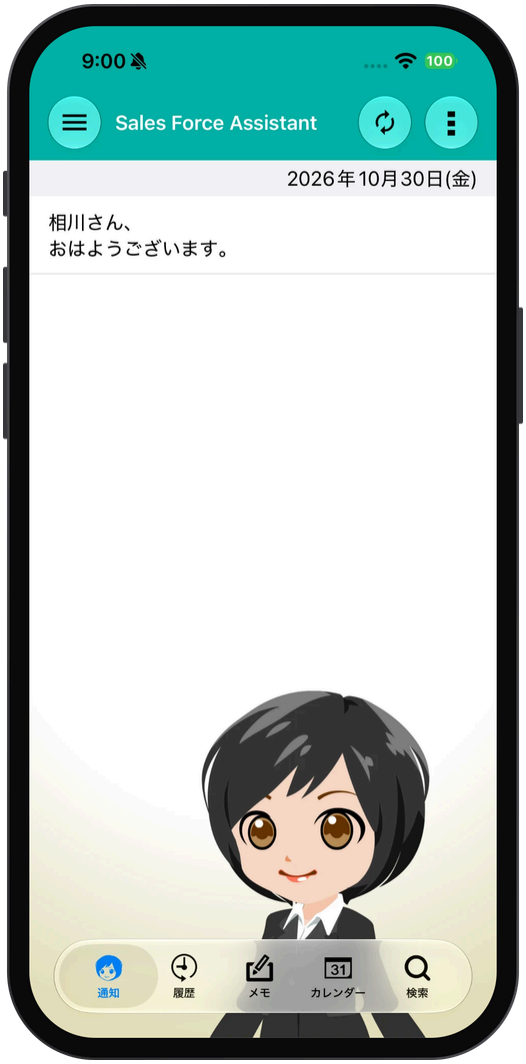
目次

SFAssistの使い方[iOS] 3

SFAssistの使い方[iOS]

▶ SFAssistとは

Sales Force Assistantシリーズと連動して、お知らせ便を受け取ったり、最新情報を確認できます。
顧客情報やパーソン情報などを検索することもでき、営業活動のお手伝いをしてくれます。
その他にも、NI Collabo 360と連動して、アプリから在席状況を変更することもできます。



動作環境

iOS 17 以降

▶ プッシュ対象設定



補足

- **プッシュ通知**
  アプリから手動更新を行わなくても自動的に新着情報を取得し、通知音やバイブレーションでお知らせします。
  お知らせ便はこの設定にかかわらず、それぞれの設定に従って通知されます。
  - プッシュ通知がされても、アプリで確認する前にPC側で確認された場合は、アプリ側には表示されません。
  - プッシュ通知は通常10～20分間隔で届きますが、サーバーの負荷状況によって前後することがあります。
  - プッシュ通知される時間帯は、システム設定より設定されています。
    システム設定＞運用管理＞アラーム通知／プッシュ通知
  - アプリを14日以上利用しなかった場合、その端末に対するプッシュ通知の送信は中止されます。
    プッシュ通知を利用したい場合、アプリを起動すると、通知が再開します。
  - そのほか、プッシュ通知が来ないときの解決方法など、プッシュ通知に関する情報があります。
    以下をご参照ください。
    よくあるご質問:スマートフォンアプリ編

▶ 通知

アプリケーションを起動すると、最初に表示される画面です。
通知を受け取ると、リストに通知内容が表示されます。
更新ボタンをタップすると最新情報を取得し、リスト内の情報を更新します。



アシスタント

標準版と同じく、レベルに応じて様々なアクションをします。

通知詳細

リストをタップすると通知詳細を開きます。
「Good Job!」ボタンから、アシスタントにGood Job!ポイントを付与できます。
「Thanks!!」ボタンをタップすると、標準版と同じくアシスタントにプレゼントを贈ることができます。（アシスタントレベル8級から）
プッシュ通知の設定をしていると、着信音とバイブレーションでお知らせします。
この通知内容は、履歴からも確認できます。

更新ボタン

タップすると最新情報を取得し、リスト内の情報を更新します。

▶ 履歴

通知の履歴を表示します。
最大で過去7日分、または過去1000件分を表示します。
リストをタップすると、詳細情報が開きます。



▶ スティッキーメモ

スティッキーメモの作成・編集・削除を行います。
画面下部の「メモ」をタップすると、スティッキーメモ一覧画面が開きます。
画面上部にあるメモをタップすると、標準版「Sales Force Assistant」のスティッキーメモと同期した編集画面が表示されます。
外出先からでも、PCから登録したスティッキーメモの内容を確認できます。
スティッキーメモを新規登録する場合は、プラスボタンをタップすると、新規登録画面が開きます。
ハッピーバースデイ通知などの通知を転記したスティッキーメモも、参照できます。



▶ 予定

スケジュールを確認します。



今後の予定

直近24時間の予定一覧です。
リストをタップすると、スケジュール詳細画面を開きます。
商談情報や業務情報から登録された予定は、Web版の予定画面が表示されます。
また、上部の「Webで開く」ボタンからWeb版のNI Collabo 360スケジュールを開くことができます。

▶ 検索

SFAに登録された情報（顧客 / パーソン / 案件）を、検索・参照できる機能です。
移動中や業務の合間でも最小限のタップ操作で必要な情報をすばやく確認・活用できます。

検索一覧

検索したい情報のタブを選び、キーワードを入力して検索します。 検索結果は更新日時が新しい順に表示され、最大で50件まで表示されます。







- リストをタップすると、検索詳細 を表示します。
- リスト右端のアイコンをタップして、電話や地図アプリを起動できます。

各業務の表示項目

	顧客	パーソン	案件
タイトル	顧客名 (顧客ランク) [顧客コード]	氏名 [パーソンコード]	案件名 [案件コード]
補足情報	住所、ビル名等	所属名、役職、顧客名(顧客ランク)	メイン顧客名
アクション	電話 (TEL、携帯番号) 地図 (住所)	電話 (TEL、携帯番号)	-

> 補足
>
> - 未入力の項目や、管理者により非表示設定されている項目は表示されません。

直近の商談に関係するデータを表示する

検索キーワードを入力していない状態では、自分が関わった直近の商談に関係するデータが自動で表示されます。

- **表示対象：** 自分が「担当者」または「同行者」である、前日～翌日（3日間）に予定・実施された商談情報
  - 顧客： 商談情報の「顧客名」に登録された顧客
  - パーソン：商談情報の「面談者」に登録されたパーソン
  - 案件： 商談情報の「案件名」に登録された案件
- **並び順：** 商談日時の新しい順（同じ相手は1件にまとめ、期間内で最も新しい商談日時で並べます）
- **表示件数：** 最大50件

閲覧履歴を確認する

「閲覧履歴」ボタンをタップすると、検索詳細画面を開いたデータを、新しい順に一覧で確認できます。同じデータは1件にまとめ、所属・役職などは名前に続けて表示するので、目的のデータをすばやく見返せます。



> 補足
>
> - 閲覧履歴は保存から7日後に自動削除されます。

検索条件を設定する

タブごとに、検索条件を設定して絞り込むことができます。



1. 画面右上の歯車ボタンをタップし、絞り込みたい条件を選択します。
    - 対象：顧客タブでは「法人 / 個人」※1、パーソンタブでは「休職・退職者を除く」を選択できます。
    - 担当者：全タブ共通で「担当分のみ」に絞り込めます。
2. 検索条件設定画面を閉じると、設定した条件で再検索されます。

> **補足**
>
> - （※1）「顧客種別」項目を利用している環境に限り表示されます。
> - 設定した検索条件はアプリ内に保存され、次回以降の検索にも引き継がれます。

検索詳細

検索結果をタップすると、より詳しい情報や添付画像を確認できます。



画像の確認

SFA上でサムネイル表示できる画像が表示されます。タップすると拡大して確認できます。

- 表示対象：顧客・パーソンの「写真」項目と「添付ファイル」項目に登録されたJPEGファイル
- 表示枚数：「写真」最大1枚 ＋ 「添付ファイル」最大10枚（新しく登録した10枚）
- 表示順：「写真」 → 「添付ファイル」（新しく登録した順）

> **補足**
>
> - 添付ファイルダウンロード権限がない場合、拡大できません。

詳細項目

検索詳細画面には、次の項目が表示されます。項目名は、設定によって異なる場合があります。 アクションがある項目は、右端のアイコンをタップすると、電話・メール・地図アプリを起動できます。

	顧客	パーソン	案件
表示項目	顧客名かな 当社担当者 住所 TEL 役職 携帯番号	氏名かな パーソンランク 役職 TEL 携帯番号 E-Mail 顧客名 所属名 住所 当社担当者	案件分類 当社担当者 メイン顧客名 商談進捗度 受注確度 受注予定日 金額 利益
アクション	電話 (TEL、携帯番号) 地図 (住所)	電話 (TEL、携帯番号) メール (E-Mail) 地図 (住所)	–

補足

- 未入力の項目や、管理者により非表示設定されている項目は表示されません。

▶ 音声議事録との連携

ボイスメモなどのレコーダーアプリで記録した議事録のテキストを、コピーしてペーストしたり、テキストファイルから読み込んだりして、音声議事録にアップロードできる機能です。他のアプリで作成・保存したテキストファイルを「共有」からSFAssistへ送り、そのままアップロードすることもできます。アップロード後の商談登録方法は「音声議事録」をご参照ください。

> ⚠ 注意
>
> - ご利用にあたっての注意事項
>   - SFA GenAIオプションを導入していること。
>   - NI Cloud Serviceをご利用のお客様であること。

コピーしたテキストをペースト

レコーダーアプリなど他のアプリでコピーしたテキストを直接アップロードします。

1. 要約タイプを選択します。
2. レコーダーアプリなどで議事録のテキストをコピーします。
3. メニューから「テキストアップロード」をタップします。
4. 「コピーしたテキストをペースト」をタップします。
5. 貼り付けた内容がプレビュー欄に表示されます。
6. アップロードボタンをタップします。





補足

- プレビューにはテキストの冒頭200文字までが表示され、それ以降は「…」で省略されます。
- アップロードできる最大文字数は10万文字です。文字数を超える場合は自動カットされます。
- ファイルアップロード後のファイル名は、「SFAssist_yyyyMMddHHmmss」形式になります。
  （例：SFAssist_20260507093015）

テキストファイルを読み込む

端末内に保存されたテキストファイルを選択して読み込み、アップロードします。

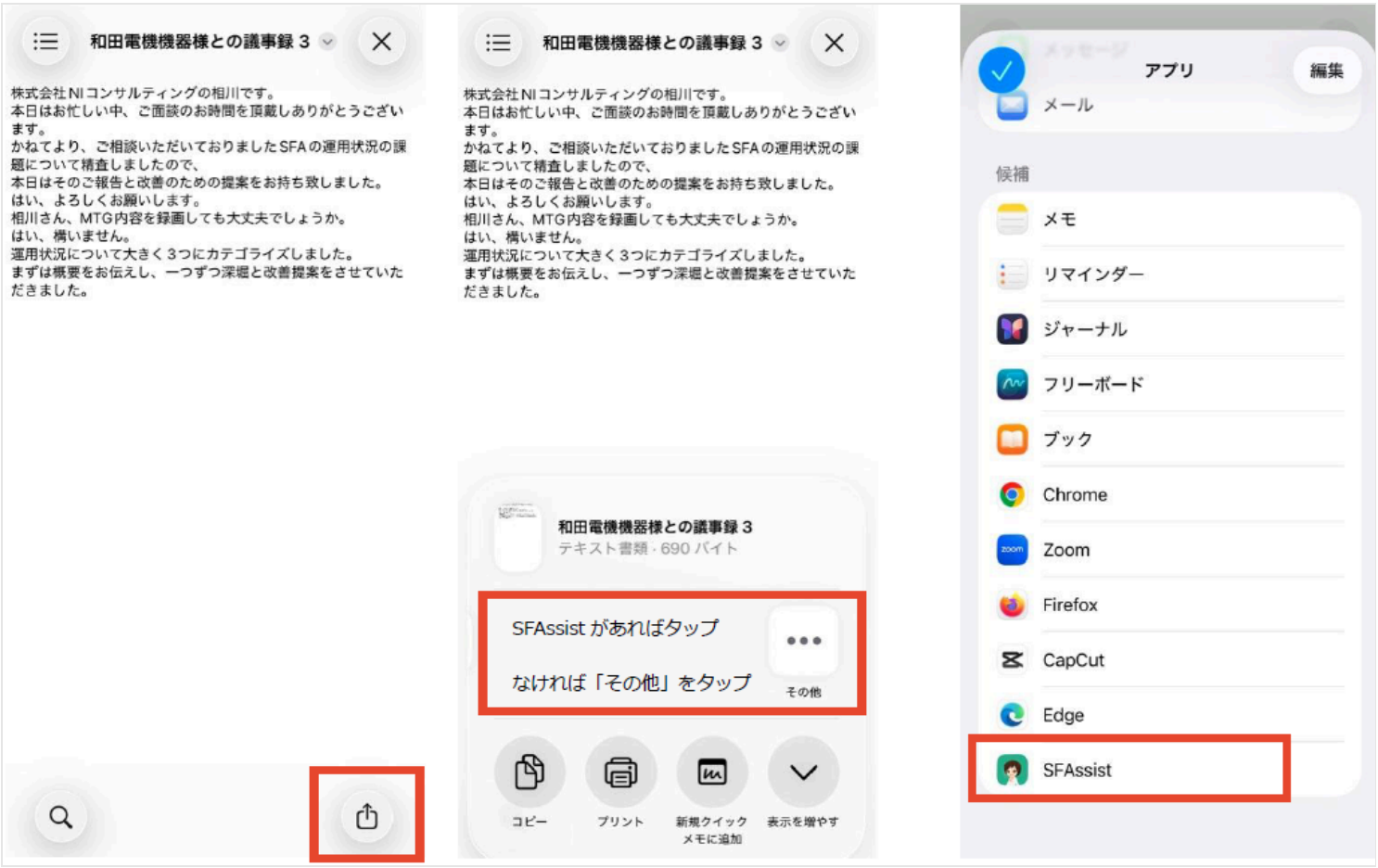
1. 要約タイプを選択します。
2. メニューから「テキストアップロード」をタップします。
3. 「テキストファイルを読み込む」をタップします。
4. 端末のファイル選択画面からアップロードしたいファイルを選びます。
5. 読み込んだ内容がプレビュー欄に表示されます。
6. アップロードボタンをタップします。

> **補足**
>
> - 対応する拡張子は .txt .vtt .docx です。
> - .txt ファイルの文字コードは UTF-8 と Shift-JIS に対応しています。
> - 1MB を超える.docxはアップロードできません。テキスト形式（.txt）に保存し直してからアップロードしください。
> - ファイルアップロード後のファイル名は、読み込んだファイル名になります。

他のアプリからのファイル共有でアップロード

他のアプリ（レコーダーアプリなど）から共有機能でSFAssistにテキストファイルを送り、そのままアップロードすることもできます。

1. 共有元のアプリで対象のファイルを選び、共有メニューからSFAssistを選択します。
2. SFAssistが起動し、テキストアップロード画面が開きます。
3. ファイル共有でアップロードする旨のメッセージが表示されます。
4. アップロードボタンをタップしてアップロードします。



補足

- 共有されたファイルがそのままアップロード対象となります。
  コピーしたテキストを貼り付け、テキストファイルを読み込むのボタンは表示されません。
- 共有元のアプリによっては対応外のファイルも選択できる場合がありますが、その場合はSFAssistで判定します。

▶ 「NI Calendar」アプリとの連携

弊社製品「NI Calendar」アプリをご利用されている場合、カレンダーから「NI Calendar」アプリの画面が開きます。

▶ 在席区分

在席区分を変更します。

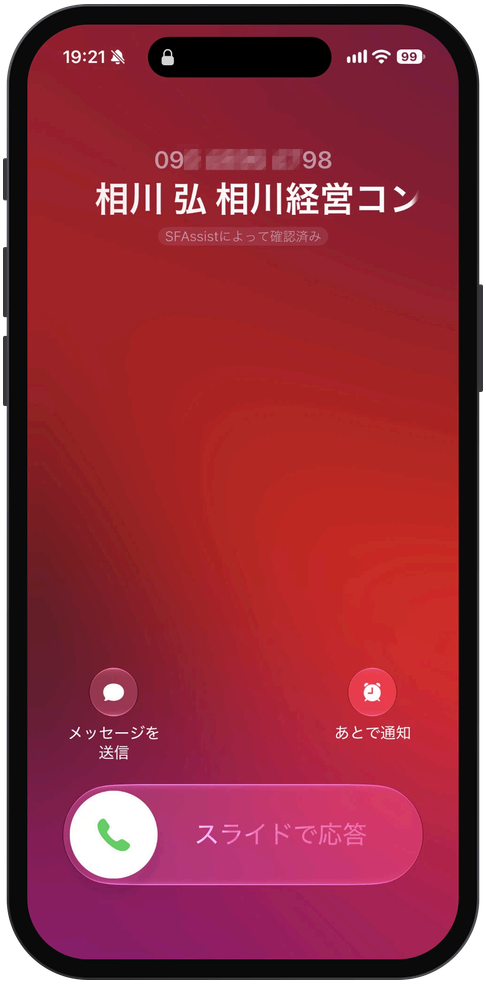
> Hint
>
> - NI Collabo 360をご利用中で、行先伝言共有をご利用中の場合のみ利用できます。



在席区分をタップするとダイアログが開き、在席状況を変更できます。
行先や備考など詳細に入力したい場合には、詳細入力をタップすると、Web版のNI Collabo 360の在席状況編集画面を開きます。

▶ 発信者表示

電話着信時、相手がスマートフォンの連絡先に登録されていなくても、『Sales Force Assistant』のパーソン情報・顧客情報と照合し、該当する「氏名」「顧客名」「役職」を着信画面に表示します。名刺交換後にSFAへ登録しただけの相手からの着信でも、誰からの着信か分かります。



※事前にデータ同期が必要です。
iPhoneは着信時にアプリから任意の通信や処理を行えません。
そのため、同期済みの情報を、電話アプリが着信時に照合して表示します。

メニューの「設定」に「発信者表示」が表示されない場合、次の理由が考えられます。

- アプリのバージョンが6.10.0より古い。
- 管理者がシステム設定で「利用する」にしていない。
- SFAの製品ライセンスが付与されていない。

アプリを更新しても表示されないときは、管理者に確認してください。

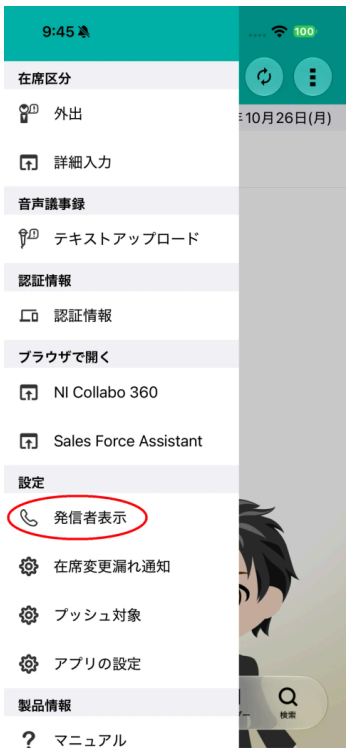
管理者向けの設定と、相手が表示される条件（照合する電話番号、同じ番号が複数登録されているときの扱いなど）は、「アシスタント」のシステム設定マニュアルに記載しています。

補足

- 同期した電話番号・氏名・顧客名・役職は、端末内に暗号化して保存します。ほかのアプリからは見えず、外部へは送信しません。
- 連絡先・通話履歴は読み取りません。第三者にデータを送信することもありません。

発信者表示を使えるようにする

設定アプリで、SFAssistを電話の「発信者識別」としてONにし、データを同期します。ONにするまでは、データは同期されず、着信時にも表示されません。

メニュー	発信者表示の設定画面	設定アプリの「電話」	着信拒否設定と着信ID
			

1. メニューの「設定」から「発信者表示」を開き、「設定アプリを開く」をタップします。
   初期状態では「発信者番号の設定」が「無効」になっています。
2. 設定アプリの「アプリ」＞「電話」＞「着信拒否設定と着信ID」を開き、「SFAssist」をONにします。
3. SFAssistに戻ります。「発信者番号の設定」が「有効」になり、「データの同期」の「最終同期」に日時と件数が表示されれば完了です。「未同期」のままのときは、「今すぐ同期」をタップします。同期が完了するまでそのままお待ちください。

どの相手が表示されるか

着信番号が、スマートフォンの連絡先に登録されていない番号のときに、同期済みの情報と照合します。SFAに登録された次の項目の電話番号が対象です。半角ハイフンや括弧などは除いて同期しますが、全角数字で登録された番号は同期されません。

業務	照合する項目
パーソン情報	TEL・携帯番号・自宅TEL
顧客情報	TEL・携帯番号

- 業務別項目設定で「表示：フォームに表示する」がオフの項目は照合されません。

次の場合は表示されません。

- 連絡先に登録されている番号からの着信。連絡先の名前が優先されます（iPhoneの仕様です）。
- 非通知、公衆電話、番号を取得できない着信。
- 同期した情報に含まれない相手。
- 電話番号として読めない形の番号。同期される電話番号は、ハイフンなどを除いた数字が、0から始まる10桁・11桁（国内の番号）、81から始まる11桁・12桁、010から始まる国際電話の形のいずれかのものです。内線番号や桁の足りない番号は、同期されません。
- 閲覧制限されている相手、その業務（パーソン情報・顧客情報）の参照権限がない相手。
- 同期したあとにSFAで登録・変更した情報。次の同期から反映されます。

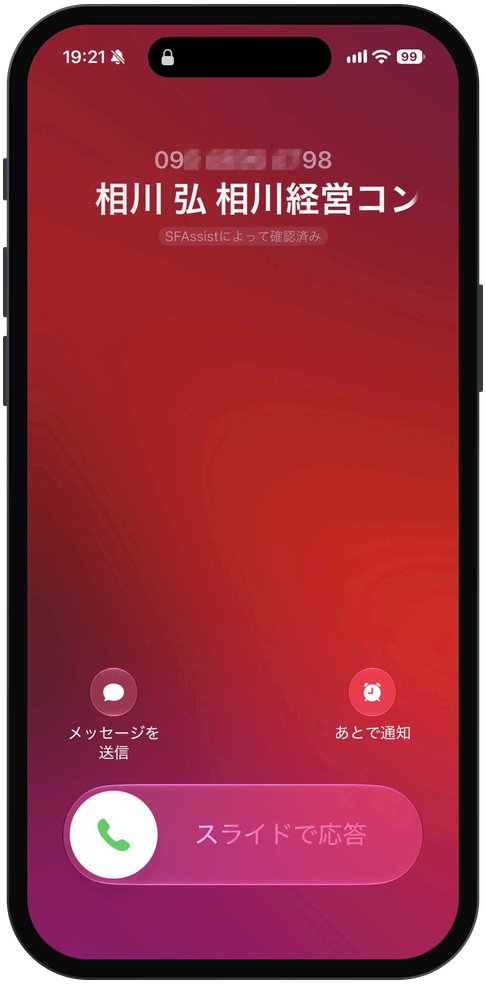
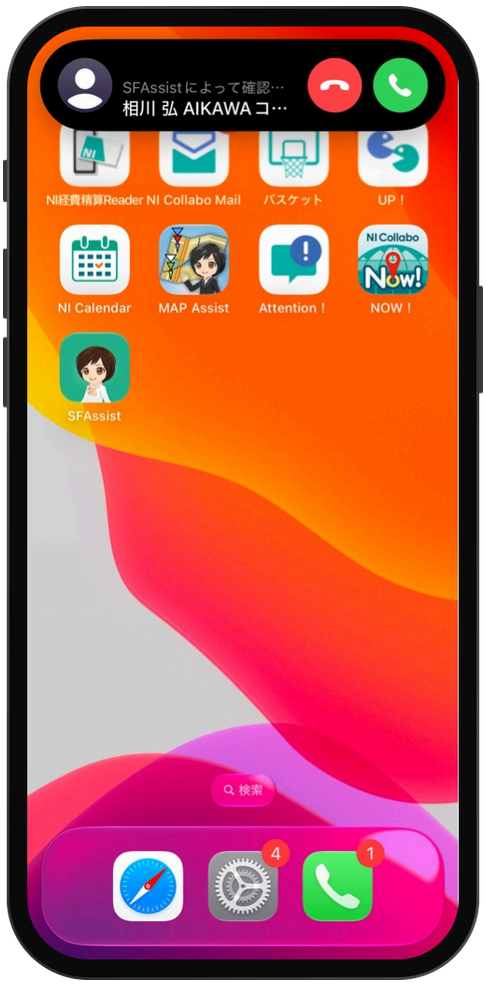
代表番号を複数のパーソンで共有している場合などは、誤った相手を表示しないよう、相手を1人、または1つの顧客名に絞れたときだけ表示します。パーソン情報を先に判定し、絞れなければ顧客情報で判定します。iPhoneでは、この絞り込みを同期のときに行い、絞れない番号は同期されません。

パーソン情報の照合結果	表示される内容
1名に絞れる	氏名・顧客名・役職
2名以上で、照合されたパーソンが同じ顧客に所属している	顧客名
0名、または2名以上で共通の顧客に絞れない（顧客が未登録のパーソンが混じる、共通の顧客が閲覧できない場合を含む）	顧客情報で照合します（次の表）

顧客情報の照合結果	表示される内容
1件に絞れる	顧客名・役職（個人客の場合）
2件以上で、顧客名がすべて同じ	顧客名・役職（個人客の場合）
顧客名が1件でも異なる、または0件	何も表示しません

▶ 発信者表示の着信時の表示

着信画面の相手の名前の位置に、同期した情報が表示されます。

ロック中	ホーム画面
	

- 氏名・顧客名・役職の順につなげた1行で表示されます。表示できる文字数は限られていて、15文字程度が目安です（端末の設定によっては、これより少なくなります）。収まらない分は、後ろから欠けます。
- 顧客名には、システム設定の「会社名の省略」が反映されます。
- 着信画面の配置は、iPhoneの仕様で定められているため変えられません。

電話アプリの履歴での表示

電話アプリの履歴には、着信したときに照合できた名称が表示され、そのまま残ります。着信したときに照合できなかった着信は、あとからも名称が表示されません。

▶ 発信者表示のデータ同期

発信者表示に使う電話番号と氏名・顧客名・役職は、SFAssistがSFAから事前に同期して、端末に保存します。着信時に通信しないので、電波の状況に関わらず表示されます。ただし、同期したあとにSFAで登録・変更した情報は、次の同期まで反映されません。すぐ反映したいときは、「発信者表示」の画面で「今すぐ同期」をタップします。

同期のタイミング

きっかけ	同期するとき
「発信者番号の設定」が「有効」になったとき	まだ同期していない場合に、同期します。
「今すぐ同期」をタップしたとき	すぐに同期します。
認証し直したとき	すぐに同期します。
アプリを起動したとき、前面に戻したとき	前回最後まで同期してから、最短で20時間程度あけて、自動で同期します。
アプリを開いていないとき	前回最後まで同期してから、最短で20時間程度あけて、iOSが決めたタイミングで自動で同期します。

- 自動で同期する間隔は目安です。アプリを開いたタイミングやiOSの判断によって、これより遅れることがあります。
- アプリを開いていないあいだの自動同期は、設定アプリの「一般」＞「Appのバックグラウンド更新」が「ON」のときだけ動きます。「OFF」のときは、「発信者表示」の画面にその旨が表示されます。同期するタイミングはiOSが決めます。iPhoneに負担がかからない、充電していて使っていないとき（夜間など）に行われることが多くなります。アプリは終了させず（上にスワイプして消さずに）そのままにしてください。
- 通信エラーなどで同期が止まったときは、「発信者表示」の画面の「直近のエラー」に理由が表示されます。通信できる状態で、「今すぐ同期」をもう一度タップしてください。

同期したデータの削除

次のときは、アプリを開いたときか操作時に同期済みのデータが削除されます。

- 認証が切れた、または認証を解除した。
- 別のユーザーで認証し直した（前の利用者のデータを削除してから同期します）。
- 設定アプリで、SFAssistの発信者識別をOFFにした。
- システム設定で発信者表示の「利用する」を外した。
- SFAの製品ライセンスがなくなった。
- アプリを削除した。

▶ 発信者表示で相手が表示されないとき

次の順に確認します。

確認すること	対処
メニューの「設定」に「発信者表示」があること	「発信者表示」がない場合は、アプリのバージョンが6.10.0より古いか、管理者がシステム設定「Sales Force Assistant ＞ アシスタント／発信者表示」で「利用する」にしていないか、SFAの製品ライセンスが付与されていません。
「発信者番号の設定」が「有効」になっていること	「無効」の場合は、設定アプリの「アプリ」＞「電話」＞「着信拒否設定と着信ID」で、「SFAssist」をONにします。
「最終同期」に日時と件数が表示されていること	「未同期」の場合は、「今すぐ同期」をタップします。
相手の情報を同期したあとに登録・変更していないこと	同期したあとの変更は、次の同期まで反映されません。「今すぐ同期」をタップします。
着信番号がスマートフォン内の連絡先に登録されていないこと	連絡先に登録されている番号は、連絡先の名前が表示されます。
相手が電話番号を通知していること	非通知・公衆電話・番号を取得できない着信は、照合できません。
相手の電話番号が同期の対象になる形であること	内線番号、桁の足りない番号、全角数字で登録された番号は、同期されません。「どの相手が表示されるか」にある形の番号か、SFAの登録内容を確認します。
SFAの登録内容	電話番号が登録されていない、項目が非表示、閲覧制限や参照権限で見られない、同じ番号が複数登録されていて絞れないときは、同期されず表示されません。管理者に確認してください。
「Appのバックグラウンド更新」が「ON」になっていること	アプリを開いていないあいだも自動で同期させたいときは、「ON」にします。

▶ その他

SFAssistの設定を「設定」や「アプリ情報」から行うことができます。
メニューアイコンをタップして開いたメニューから、画面を表示します。

在席変更漏れ通知の設定

オフィスを離れた時に、在席区分を変更し忘れていたらお知らせする場合には、タップして通知をONにします。
オフィスの場所をタップするとダイアログが開きます。
「現在値をオフィスに設定する」をタップすると、現在地をオフィスの場所に指定できます。
またテキスト入力欄から、オフィスの場所を指定することもできます。
※位置情報の利用許可が要求されます。
　利用を許可しないと再度要求されます。



アプリの設定を変更

通知方法やカメラへのアクセスなど権限を設定する場合にご利用ください。